

ご協力をお願いします!

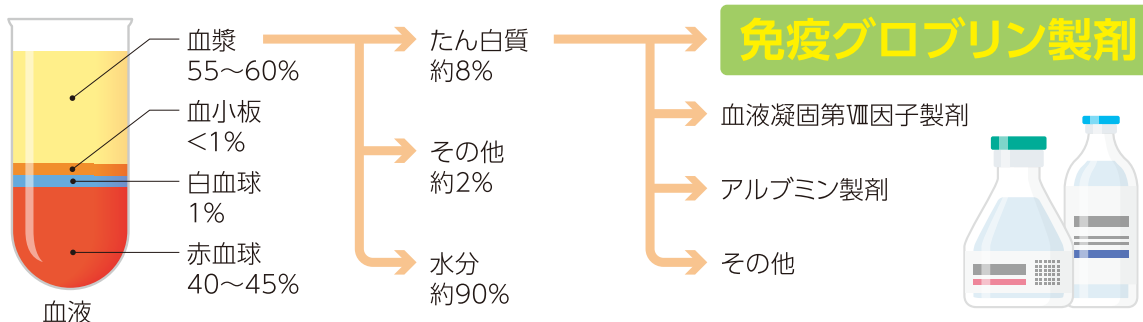
血液からつくる 「くすり」があります



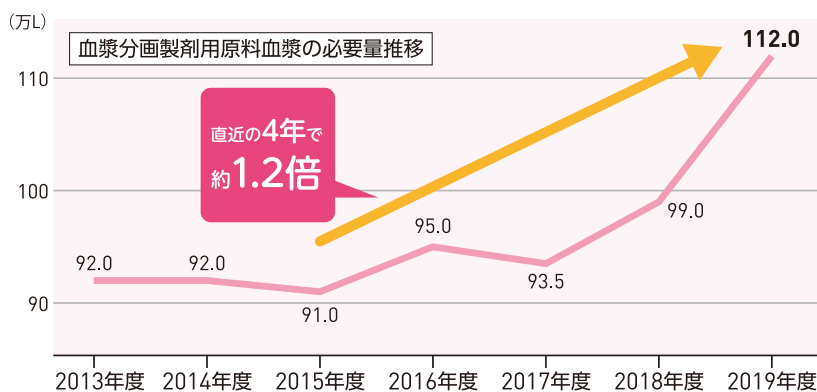
血液から特定たんぱく質を抽出、精製し、製造された血漿分画製剤は様々な疾病の治療薬として広く使われています。

血液の成分である血漿を原料として、各種血漿分画製剤がつくられます

— 血漿分画製剤がえられる流れ —



血漿分画製剤は、一部を除き、献血血液の成分である血漿を原料としてのみ製造が可能です。近年、免疫グロブリン製剤の**必要量が、急激に増加**しています。



けっ しょう せい ぶん けん けつ

血漿成分献血に是非 ご協力お願いします!



免疫グロブリン製剤は神経難病にも有効です!

～ 医療現場からのメッセージ ～

ヒトの血液から作られる免疫グロブリン製剤は、神経系の病気の治療に無くてはならないものです。特にギランバレー症候群 (GBS) や、慢性炎症性脱髄性ニューロパチー (CIDP) ・多巣性運動ニューロパチーは、現在、治療手段の中心になっています。

これらはいずれも免疫異常によって起こる末梢神経の病気で、手足の麻痺やしびれのため日々の生活を送ることが困難となりますが、免疫グロブリン製剤は、これらの障害の進行を抑え、症

千葉 厚郎先生
(杏林大学神経内科教授)



状の回復を促進します。

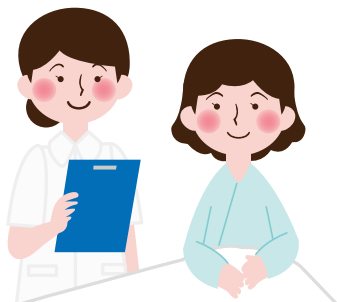
GBSは、呼吸をする筋肉の麻痺や自律神経障害により命に関わることもあり、早期の治療開始が必要です。また、CIDPでは繰り返しの投与や、維持療法も必要とされています。

患者さんの命を救い、生活の質の改善や長期的な身体機能の維持に必要な免疫グロブリン製剤のニーズは益々高まっており、日本国内での献血による安心・安全な免疫グロブリン製剤が安定的に供給されることを期待します。

～ 患者さんのメッセージ ～

両手に筋力低下・筋萎縮等の症状があり、多巣性運動ニューロパチーと診断されました。以来約10年、免疫グロ

やまざき けいこ
山崎 敬子さん



ブリン製剤のお世話になっています。症状の進行がかなり抑えられ、改善も見られました。多くの方々が献血してくださったおかげです。今はできなくなってしまった事を嘆くことなく、できる事を生かし前向きな気持ちで日々を過ごしております。助けてくださった皆様、本当にありがとうございます。